

# 明るい選挙推進だより

第28号

平成30年3月

発行 新発田市明るい選挙推進協議会  
新発田市選挙管理委員会  
新発田市中央町4丁目8番11号 ☎(0254)22-3030(代)



(明るい選挙出前授業 新発田農業高校)

## 未来を創るあなたの一票



(敬和学園大学)



(新発田商業高校)



(菅谷小学校)

選挙管理委員会では、児童・生徒を対象に「明るい選挙出前授業」や「模擬投票」を企画していますが、これに積極的に参加される学校があり、成果をあげているところがあります。

公職選挙法改正により「18歳選挙権」が実現されました。文科省は、高等学校の公民科の新必修科目として「公共」を置く方向性を示しました。総務・文科両省共同作成の副教材「私たちが拓く日本の未来」で、教育現場や関係者の創意工夫に期待しています。

昨年、突然に衆議院の総選挙が実施され、期日前投票者が前回よりも増加傾向でした。新発田市の属する新潟三区は、50票の差で当落が決まり、制度により選挙区から2名が選ばれました。

恒例の選挙啓発事業の「市民書初め大会」に今年も多数応募がありました。特に《一般成人の部》で出品数が多く作品も見事でありました。子どもたちの作品が少なくなってきましたが、その中において全校生徒が取り組んだ中学校があり、嬉しいことです。



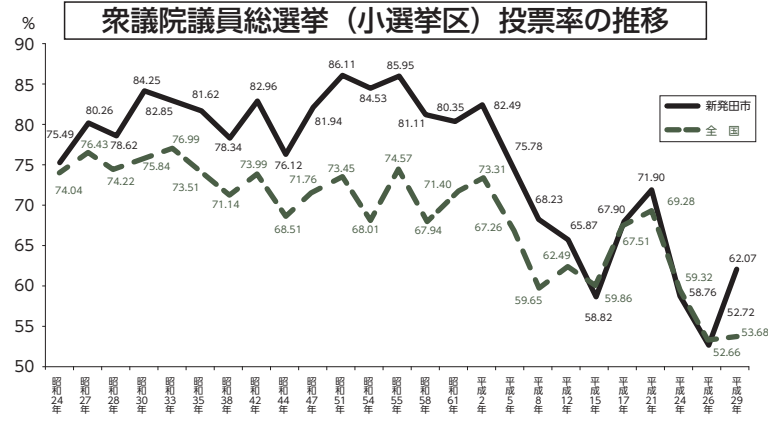
新発田市明るい選挙推進協議会  
会長 高澤 榮松

明るい選挙で豊かな市民生活を

## 衆議院議員総選挙

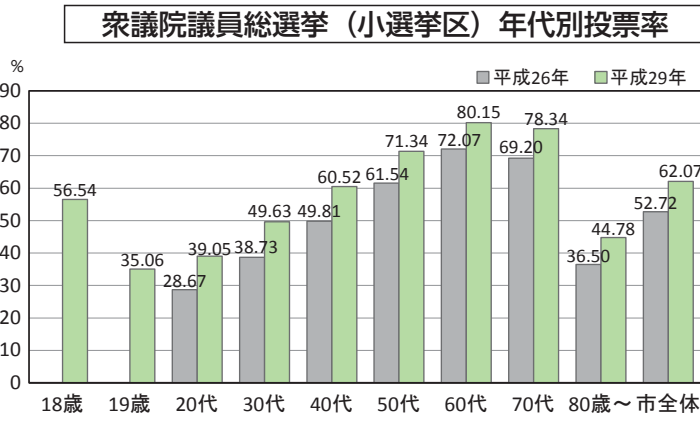
### 『投票率アップ!』

平成29年10月22日に執行された衆議院議員総選挙において、当市の投票率（小選挙区）は62・07%となりました。戦後最低となった前回の52・72%を9・35ポイント上回りましたが、まだ戦後4番目に低い状況です。全国の53・68%と比べると8・39ポイント上回る結果でした。



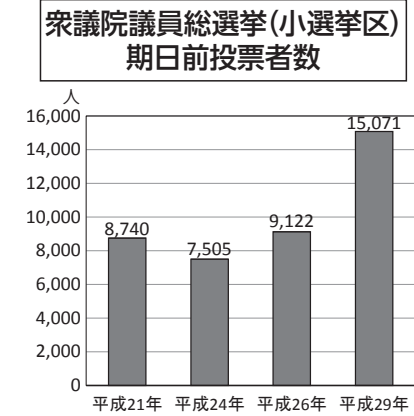
### 『若年世代の投票率が課題!』

年代別の投票率では、18歳の投票率が20代、30代を上回りましたが、市全体の62・07%を超えるまでにはなっていません。依然として若年層の投票率は、他の年代に比べて低くなっています。年代別投票者数及び構成比では、60代が最も多く12,593人で約24%を占め、若年世代では10代と20代を併せても4,390人で8・4%にしかなりません。30代を含むこれら若い世代の投票率を引き上げることが、全体の投票率の底上げが期待されます。

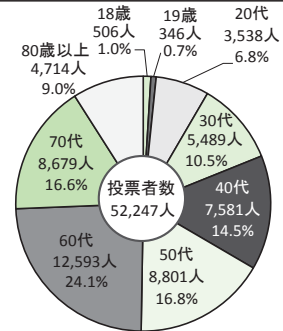


### 『期日前投票者大幅増!』

期日前投票の投票者数が大幅に増加し、過去最高となりました。総数で1万5千人を超え、前回平成26年に比べて、約6千人増えて1・65倍となりました。今後も、期日前投票制度の浸透や選挙人の意識の変化により、期日前投票利用者の増加が見込まれます。



### 衆議院議員総選挙(小選挙区) 年代別投票者数及び構成比(平成29年)



## 国民投票とは?

憲法96条では、憲法の改正は国会の衆参各議員の総議員の3分の2以上の賛成を経た後、「国民投票」によって過半数の賛成を必要とする定められています。

「国民投票」とは、私たちが憲法改正に関して最終的な意思決定をするものです。

「国民投票」の投票権は、投票日が平成30年6月20日までにある国民投票においては、満20歳以上の日本国民が有するとされていますが、投票日が平成30年6月21日以後にある国民投票においては、満18歳以上の日本国民が投票権を有することになります。

## 今年度の啓発活動

昨年5月20日に新発田農業高校の全校生徒、7月11日に新発田商業高校3年生、今年1月22日に菅谷小学校6年生を対象に「明るい選挙出前授業」を実施しました。

菅谷小学校の6年生からは、「投票は緊張したけど意外と簡単だった。」「18歳になったら自分でよく考えて投票したい。」「一人ひとりの一票が大切なんだと思った。」などの感想がありました。

また、1月17日・19日には敬和学園大学1年生を対象に、年代別の投票率や投票者数、選挙の重要性を説明し、これからの社会を支える学生に選挙の参加を呼びかけました。(一面写真参照)

# 新発田市明るい選挙推進 市民書初め大会

多くの市民の皆さんから「明るい選挙推進運動」に参加していただくことを願い、毎年実施している書初め大会も43回目になりました。

作品課題は、市歌の歌詞から、「希望の光」、「七色の虹」や「ふれあう心」、自作の短歌など、成人から園児までの6部門に951点の応募があり、金賞68点などが選ばれました。

2月10日(土)・11日(祝)に生涯学習センターで入賞・入選作品297点を展示し、約540人の方に来場いただきました。

## ●金賞入賞者

【第一部・成人】 笠原(すえ) (大栄町) 齋藤正雄 (住吉町) 田村邦彦 (五十公野) 竹内イツ子 (五十公野) 森田育子 (舟入町) 桜井美智子 (大栄町) 泉妻宏治 (舟入町) 鈴木勝実 (舟入町)

【第二部門・高校生】 本間裕之 (新発田商業3年) 五十嵐美水 (新発田1年)

【第三部門・中学生】 3年 桜井梨乃 (東) 山中ひなた (本丸) 2年 五十嵐華乃 高木聖弥 瀧澤佑加 中野遙陽 斎藤好 小柳瑞生 近彩寧 (第一) 野村慎ノ輔 (東) 藤間麗那 菅彩希 (七葉) 石澤幸来 (佐々木) 1年 松川りお (本丸) 高橋菜摘 藤原友惟 金子初音 阿部希望 (第二) 金子駿 (猿橋) 小川原未結 金子遊風 (七葉) 石澤心結 後藤咲希 (佐々木) 増田千華 (紫雲寺)



## 【第四部門・小学生】 6年 佐藤友梨 (外ヶ輪)

齋藤桜来 樋口空夏 細井冬彩 (御免町) 高橋輝 (二葉) 渋谷優希 (川東) 佐藤和真 高澤南 (加治川) 5年 長谷川碧 金子愛 藤間音 (猿橋) 笠原龍之介 (御免町) 長谷川侑 (二葉) 佐藤琴光 (東豊) 4年 町田和音 (猿橋) 阿部正宗 伊藤沙也 (二葉) 栗山かなめ (東豊)

## 【第五部門・小学生】 3年 船山美空 樺澤菜々

(御免町) 小泉穂莉 (二葉) 小出駿 (川東) 阿部絢美 五十嵐蓮 (加治川) 2年 長田こはる (猿橋) 石川碧 関口嘉人 (住吉) 柏木敬翔 (藤塚) 1年 やまたとあ (二葉) 村山涼聖 (加治川)

## 【第六部門・園児等】 近杏梨 (わかば幼稚園)

平野瑛太 (ななほ保育園) 高橋せりな (日本習字新発田支部) 佐藤彩葉 (ルンビニ保育園)



# あなたの地域の参加度は？

平成29年衆議院議員総選挙(小選挙区)投票結果



政治への参加はまず一票から

一票のチカラ、みんなの力

投票所	有権者数	投票率	投票所	有権者数	投票率
東町公会堂	941	64.51%	下山公会堂	441	54.65%
新発田市役所(ヨリネスしばた)	2,959	65.09%	菅谷コミュニティセンター	797	56.71%
新栄団地市営住宅集会所	1,514	52.77%	下石川公会堂	640	63.59%
外ヶ輪小学校	3,931	64.11%	メ切ふれあい交流センター	880	63.64%
御免町小学校	2,762	61.95%	上館公会堂	1,585	60.25%
第一中学校	2,703	58.49%	三田市早道場集落開発センター	1,357	60.94%
総合健康福祉センター(いきいき館)	1,276	62.46%	佐々木公会堂	1,077	55.34%
西新発田高等学校	2,410	60.08%	佐々木コミュニティセンター	1,239	57.30%
猿橋中学校	3,990	56.24%	西藪口公会堂	438	68.95%
中曾根公会堂	2,799	54.98%	鳥穴・砂山公会堂(旧鳥穴保育所)	264	59.85%
東豊小学校	4,156	61.50%	豊浦支所	1,501	68.75%
島潟生活改善センター	442	64.03%	加治万代ふれあいセンター	317	69.72%
中井保育園	881	63.56%	荒橋小学校	1,006	65.71%
七区公会堂	1,043	64.62%	切梅公民館	312	67.63%
住吉コミュニティセンター	6,338	59.23%	天王小学校	675	63.56%
新発田高等学校「杉原記念館」	4,159	61.43%	中ノ目新田ふれあいセンター	568	67.61%
青少年健全育成センター	2,841	63.22%	戸板沢公民館	102	72.55%
五十公野コミュニティセンター	2,825	63.36%	上本田公民館	942	60.72%
天ノ原保育園	1,686	63.82%	中之通集落センター	500	56.00%
松浦農村環境改善センター	728	65.80%	温泉公民館	907	52.59%
松浦保育園	648	68.67%	滝沢ふれあいセンター	139	70.50%
松岡公会堂	393	68.96%	健康プラザしゅうじ	1,459	65.46%
米倉農村環境改善センター	438	67.81%	上真中ふれあいセンター	909	69.31%
大槻集落開発センター	320	70.94%	大島体育館	389	69.15%
山内公会堂	207	61.35%	米子保育園	798	65.91%
中々山公会堂	90	84.44%	紫雲寺地区公民館西部分館	833	59.30%
中央公民館赤谷分館	207	72.46%	藤塚浜保育園	1,749	61.35%
滝谷新田集落ふれあい交流センター	128	60.94%	住田宮農研修センター	489	68.10%
農村婦人の家	38	63.16%	加治川さわやかルーム	559	65.12%
川東コミュニティセンター	1,607	64.72%	泉地区世代交流センター	657	69.86%
宮古木コミュニティセンター	353	73.94%	加治川地区公民館中川分館	1,168	68.07%
県立新発田竹俣特別支援学校	851	66.39%	加治川コミュニティセンター(旧新家小学校)	1,601	61.40%
板山地域利用改善センター	392	70.92%	相馬宮農研修センター	218	74.77%
田貝集落ふれあいセンター	169	63.31%	加治川地区公民館金塚分館	653	68.76%
下岡田公会堂	484	56.61%	在外投票	39	15.38%
小戸公民館	263	70.72%	新発田市全体	84,180	62.07%

## みんなで徹底しよう 「三ない運動」

政治家が、選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

違反すると、処分されます。  
また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

「贈らない！」  
「求めない！」  
「受け取らない！」

- お歳暮やお年賀
- 入学祝・卒業祝い
- 病氣見舞い
- 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い
- 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
- 葬式の花輪・供花
- 落成式・開店祝の花輪
- 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入
- お祭りへの寄附や差入
- 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入



政治家は選挙区内の人々に現金や祝品、あいさつ状などを出すことは禁止されています。

寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

## 組織

「明るい選挙推進協議会(明推協)」は、①選挙違反のないきれいな選挙が行われること、②有権者がこそって投票に参加すること、③有権者が普段から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うことを目標に、全国約8万人のボランティアの方々とともに活動している団体です。

## 明るい選挙とは

私たち国民が、買収や供応といった選挙犯罪や、義理人情などによるゆがんだ選挙を排し、選挙が公正かつ適正に行われ、私たちの意思が政治に正しく反映される選挙を「明るい選挙」といいます。

そして、この「明るい選挙」をすすめるための運動が「明るい選挙推進運動」です。この運動は、私たちの一票が正しく投票されることを目的としており、同時に国民一人ひとりの政治に対する関心と意義を深めていくものです。

## 主な活動内容

### ○街頭啓発

選挙のたびごとに、市内の大型店舗において政治参加、棄権防止の呼びかけを行っています。



(衆議院議員総選挙での啓発活動)



## 明るい選挙推進協議会

### ○研修会

選挙に関する理解を深めるため、選挙管理委員会事務局を講師に迎え、「18歳選挙権と最近の選挙情勢等」についての研修会を開催、推進員等21名が参加しました。



(4月26日の推進員等研修会)

### ○議会傍聴

市政や県政に対する関心を深め、また、議会議員の活動を知るため議会傍聴を毎年実施しています。

今年度は市議会6月定例会の一般質問、県議会12月定例会の連合委員会を傍聴しました。



(6月15日の市議会傍聴)

## 推進員募集

新発田市明るい選挙推進協議会は、随時推進員を募集しています。

民主政治の健全な発展を図るため、新発田市における選挙人の政治意識の高揚に務め、明るい選挙を推進することを目的とし、「総務」、「啓発」、「広報」、「研修」の4部会で構成し活動しています。

関心のある方は、選挙管理委員会事務局へお問い合わせください。

## 平成30年度任期満了となる選挙

選挙名	任期満了年月日
豊浦郷土地改良区 総代総選挙	30年 7月 1日
新発田市市長選挙	30年11月30日



## あごき

広報部会  
部会長 阿部 あつ子

あなたは投票へ行きましたか？  
暮らし易い社会をつくるのはあなた次第です。日本国憲法は主権が国民に存在すること、すなわち国民が政治の主役であることを宣言しています。  
来春にも改憲案への賛否を問う国民投票が現実味を帯びてきました。有権者は、護憲・改憲に関わらず、よく考え責任を持って投票しましょう。日本の進路、平和や人権と自分の為は勿論、未来に対し無関心は無責任です。  
選挙は自分の意思を表す良い機会です。選挙時には必ず投票に行きましょう。

## 編集委員

五十嵐ミネ (副部会長)  
塚田 朋弘 下妻 トイ  
関川 イク